

事例名：島根地域を中心とした産学官連携活動推進

機関及び連携機関

国立大学法人島根大学
独立行政法人国立高等専門学校機構 松江工業高等専門学校
島根県
財団法人しまね産業振興財団

功労者

元 財団法人しまね産業振興財団
参事(技術コーディネータ) 堀江 譲

事例の概要

- ◎島根県内を中心とした産学官への積極的なニーズ・シーズ調査を基に、産学官連携のみならず、産産連携、学官連携など産業振興のための幅広い連携活動を推進した。
- ◎都市エリア産学官連携促進事業では科学技術コーディネータとして、地域新生コンソーシアム研究開発事業においては、管理法人として研究コーディネートを行ってきた。
- ◎中国地域産業クラスターを推進するため、「広域的新事業支援ネットワーク拠点重点強化事業」における拠点組織(島根地域)のクラスターマネージャとして、広域連携に貢献した。

(特筆すべき事項)

- ◎県内企業からの技術相談に対して的確な指導と、平素からのニーズ・シーズ調査及び長年培った人脈によって、迅速なコーディネート活動を行い、産学官連携による課題解決を数多く果たした。
- ◎大学のシーズを企業へ紹介し、共同研究や新製品開発などに結び付けた。
- ◎県内企業製品の開発・評価に関する相談などについて、公設試験機関などへ働きかけを行い事業化を推進した。

具体的成果等

◎連携の概要とその特長

県内企業の技術力強化、事業化促進に主眼を置き、技術指導と日々の積極的なニーズ・シーズ調査を基にした産学官連携活動を行い、共同研究契約締結や新製品の創出に貢献した。また、県外の最新技術情報を県内関連企業へ情報提供することによる広域的な連携や、県外企業へ県内のニーズ・シーズなどを提供し企業誘致に繋げるなど、多様な形での産学官連携を推進した。

◎功労者の主な役割

技術面の専門的知識を持ち、研究者とも直接話のできる当財団の技術コーディネーターとして、また、「広域的新事業支援ネットワーク拠点重点強化事業」における拠点組織(島根地域)のクラスターマネージャとして産学官連携の中心的役割を担い、地域の産業振興に貢献した。

都市エリア産学官連携促進事業では科学技術コーディネータとして、地域新生コンソーシアム研究開発事業においては、管理人として研究コーディネートを行った。

更に、県内市町村が実施する研究開発助成制度の審査委員を務めるなど、地域の産業技術高度化にも貢献した。

◎連携体制によってもたらされたあるいは期待される具体的な効果

産学官連携活動の結果、国等の競争的資金を過去3年間で4件獲得し、産学官連携による事業化研究を推進した。

また、平成19年度には松江工業高等専門学校のシーズを基に、県内企業2社をコーディネートして新製品開発を短期間で実現するなど、産学官連携による効果的な製品開発事例となった。